



東陽病院 副院長 伊藤 文憲

交換、手浴、足浴等を、
トロール (5) 清拭、寝衣
病の患者さんの血糖コン
ド、在宅酸素の管理及び
指導 (3) 椅子 (床ずれ)
の治療及び指導 (4) 糖尿
病の患者さんの血糖コン
ド、在宅酸素の管理及び
指導 (3) 椅子 (床ずれ)

※ 東陽病院の休日当番日
8月11日(日)・9月8日(日) 午前9時～午後5時
医師2名が待機・来院の際は電話を **☎ 841-3335**

では、具体的にどのような事を行っているかというと次のようなことです。
①状態観察を行い医師へ報告 (血圧・脈拍・呼吸状態・全身状態等)
②尿を排出するための管、栄養チューブ、

患者さんと一緒に在宅診療を希望した場合に、月に一度の医師の訪問診療とともに、状態に応じて自宅におじやまで、家族が在宅診療を希望しました。当初の頃から継続してご利用いただいている患者さんもいらっしゃいます。

光町のみなさんこんにちは。今回は訪問看護サービスについてご紹介します。東陽病院の訪問看護は在宅での療養を希望される患者さんとそのご家族を支援する目的で、平成9年7月より開始され、現在は専任の保健師1名と看護師1名のスタッフで行っています。患者さんの住所は光町・横芝町・野原町の3町がほとんどです。年齢は50才台から100才です。脳血管障害（脳梗塞・脳出血など）や心不全・呼吸不全による寝たきりのため通院困難な患者さん達です。以下当院の訪問看護室スタッフからの報告です。

健康への

メツセージ

シリーズ⑮

訪問看護とは

患者さんの状況・状態に合わせて行っています。

しかし、私達保健師、看護師がいつでも訪問看護を行えるわけではありません。患者さんにとって主体となる看護者は、身近にいるご家族のみなさんです。そういう方へのご指導と援助を兼ねながら訪問看護は行われています。

また、平成12年からは介護保険が導入され、ケアマネジヤー（介護支援専門員）によって介護計画が立案してもらえるようになり、訪問看護・訪問介護（ヘルパー）、訪問入浴・訪問リハビリなど、その方の状態に合わせた、在宅介護サービスを組み合わせ、よりスムーズにそして専門的な分野からより効果的にサービスが受けられるようになりました。

誰もが在宅で治療・療養できればどんなに良いことかと思うはずです。高齢化が進むと思われるこれからは、在宅での医療・看護はなくてはならないものとなつてくるでしょう。まだまだ、在宅医療・看護の態勢において解決すべき点もありますが、今後の課題として、改善していきたいと思います。

在宅医療・看護においてご相談・ご質問などありますたら、東陽病院の訪問看護室までお気軽にご連絡ください。

『鬼来迎』展



8月16日(金)まで
開催

=町立図書館=

☎ 843-3111

鬼来迎の版画や写真など、普段見られない作品を図書館2階ロビーで展示しています。

※8月16日(金)、鬼来迎の記念切手スタンプ(郵便局)



休館日

8月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、9月2日(月)、3日(火)